

「桜」前夜祭にサントリーが無償提供



「桜」前夜祭で壇上に立つ安倍首相（当時）
 2018年4月、自民党・北村経夫参院議員のフェイスブックから（画像は一部加工）

日本共産党の山添拓参院議員（東京選挙区）は、3日の予算委員会で「しんぶん赤旗」日曜版が報じた「桜を見る会」前夜祭にサントリーが大量の酒を無償提供（右の表）し、安倍晋三首相（当時）が有権者にふるまっていた問題を追及。違法な献金であり、政治をゆがめた疑惑であるとして、安倍氏の説明とともに岸田首相の責任で調査するよう迫りました。

安倍氏と会談、一本化先送り

無償提供は2016年から4年間毎回行われ、この時期は政府・与党がビールは減税、発泡酒は増税し、やがて一本化すると検討をしていた時期と重なります。しかし税制改正で大打撃と言われたサントリーホールディングス現社長の新浪剛史氏が安倍氏らと会談を重ね、一本化は26年まで先送りされました。山添氏は「酒の提供は酒税変更先送りのお礼との疑惑もある。調査すべきだ」と求めました。

安倍氏は説明を 首相は調査を

前夜祭を主催した安倍晋三後援会は、企業が寄付できる「政党」「政治団体」ではなく、酒の無償提供は違法献金の可能性があります。安

倍氏は20年12月、国会で説明した際、酒の提供は一切語っていません。山添氏は「説明し直してもらいたい」と迫りました。岸田首相は「個別の案件について申し上げるのは控える」と答えるだけでした。

安倍氏側が地元有権者らに酒を提供

安倍氏側が会場に持ち込んだ酒と本数が新たに判明
 これまでに判明しているホテルへの補てん額

ウイスキー…30本	2017年	186万 860円
赤ワイン…24本		
白ワイン…24本		
焼酎…12本		
ビール…80本	18年	144万9700円
ウイスキー…30本		
赤ワイン…24本		
白ワイン…24本		
焼酎(720ミリ)12本		
ビール500ミリ20本	19年	250万7732円
ウイスキー…42本		
赤ワイン…24本		
白ワイン…24本		
焼酎…12本		

刑事確定記録から「赤旗」日曜版編集部が作成

大反響 赤旗日曜版スクープ メディア後追い

「桜を見る会」への酒無償提供は「しんぶん赤旗」（5月29日号）がスクープし大反響。「東京」（同時28日付）に続き、「朝日」（同31日付）が「専門家『違法献金の可能性』」、「毎日」（1日付）が「サントリー規制法抵触か」の見出しで報じました。民放各局も後追いしました。

メディアでも注目

大軍拡反対なら共産党しかない

大軍拡は国民の暮らしを押しつぶすと主張する日本共産党の姿勢にメディアが注目しています。



5月30日放送のTBSラジオ「森本毅郎スタンバイ!」では、軍事費の増額をめぐる各党の姿勢が話題に。コメンテーターの山田恵資氏（時事通信）は、GDP（国内総生産）比2%への大軍拡を公約する自民党はもちろん、立憲民主党などの野党も軍事費の増額を「参院選の争点にはしない」と主張しているとして、「反対している人は選挙で誰に入れればいいのか」という話になる」と指摘。森本氏が「これはもう共産党しかないんじゃないか」と発言すると、山田氏も「いま本当に明確に共産党しかない形になっている」と応じました。

山田氏は、NHK「日曜討論」（5月29日）での各党の議論にも触れながら、軍事費増額反対の立場を示したのは「（日本共産党の）小池晃書記局長が唯一と言っている」と強調しました。